

被災地市民交流会シンポジウム・プログラム

「神戸・台湾・中越・四川—それぞれの復興と多文化共生—」

神戸では、阪神・淡路大震災という未曾有の災害を経験しました。その後、世界各国で大きな災害が発生していますが、その状況を知ることが難しいのではないのでしょうか。

このシンポジウムでは、阪神・淡路大震災 15 周年を記念して、大震災のあった神戸、台湾、中越、そして四川の被災地市民の方々をお呼びし、被害や復興の状況などについて語っていただき、様々な災害と復興をみんなで共有し、震災をきっかけに多文化共生について一緒に考えます。

日時：平成 22 年 1 月 10 日（日）13 時から 17 時まで

会場：神戸市立博物館

- 主催者あいさつ 被災地市民交流会実行委員会・世話人代表 垂水英司
- 神戸の復興について
 - 「新生・未知への挑戦」 たかとりコミュニティセンター・理事長 神田裕
- 台湾の復興について
 - 「ペーパードーム・新故郷」 新故郷文教基金会・董事長 廖嘉展
 - 「921 から八八水害へ」
長栄大学社会工務系・講師 原住民深耕徳瑪汝協会・秘書長 黄盈豪
- 《休憩》
- 中越の復興について
 - 「中間支援組織による復興支援」 中越復興市民会議・事務局長 稲垣文彦
- 四川の復興について
 - 「中国民間 NPO ボランティアによる被災地の支援」
四川 512 民間救助服務中心・理事長 高圭滋
 - 「512 地震における民間救助」 四川省社会科学院の社会学研究所 郭虹
- ギター演奏
- 全体討論 コーディネーター 井垣昭人

全体司会：天川佳美

通訳：陸超、王雪雯、穂原雅人（鄧奕）

発表者紹介

神田裕（かんだ ひろし）

1958年兵庫県尼崎市生まれ。京都外国語大学外国語学部英米語学科、上智大学神学部神学課卒業。1988年カトリック司祭に叙階、1991年たかとり教会赴任（2007年まで）。1995年1月17日阪神淡路大震災が発生した時、全国から救援に駆けつけたボランティアがたかとり教会に集まり、FM わいわいをはじめ在日外国人に対する復興支援などの活動団体が生れ育ち、これらをネットワークする形で2000年NPO法人たかとりコミュニティセンター（TCC）が結成され、同年理事長に就任。2007年からカトリック大阪大司教区 教区本部事務局長を務める。



廖嘉展（リャオ・ジャーザン）

1962年生まれ。1986年撮影記者として雑誌「人間」に入り、台湾社会の変動の力を見るときともに、台湾社会システム発展の困難さも体験した。1989年雑誌「人間」停刊後、埔里に居を移し、埔里の多元的民族発展について長期の足跡を記録したいと考えた。1993年から嘉義県新港郷に招かれ、神港文教基金会のまちづくり活動事務に従事、基金会執行長を務めながら、「老鎮新生—新港の故事」を出版した。1996年埔里に戻り、1999年1月新故郷文教基金会を設立、董事長に就任したが、9月21日集集大地震に遭遇、基金会は再建活動に邁進した。桃米生態村づくり支援や新故郷見学園区ペーパードームの再生は、震災復興10年の重要な経験となった。2005年を起点に、新故郷見学園区のネットワークを発展させ、社会的企業の発展モデルとして、さらに多くのコミュニティや産業に地域おこしの力量を付けるように働きかけたい。

黄盈豪（ファン・インハオ）

1976年南投県生まれ。政治大学で社会工作学を学ぶ。1999年9月21日921大地震に遭うや直ちに大安渓沿いの原住民部落に入り、その後達観部落に5年間とどまって復興支援に尽力した。現在、長栄大学社会工作系・講師。原住民深耕徳瑪汶協會・秘書長、至善社会福利基金会・原郷重建專案ボランティア指導員を務め、暨南大学社会政策及社会工作系博士課程に在籍している。中華民国ソーシャルワーカー職業技術高等資格、米国ポートランド州立大学非政府組織訓練、英国ケンブリッジ企業管理訓練など修了。また、2004年内政部社会工作優秀活動者賞、2006年Keep Walking夢想奨励計画、2007年国家青年社区活動参加奨励計画などを獲得した。





稲垣文彦（いながき ふみひこ）

1967年新潟県長岡市生まれ。明治大学商学部卒。サラリーマン生活を送っていたが、会社を辞め就職活動中の2004年10月23日、中越大震災で被災した。長岡市災害ボランティアセンターにてボランティア活動を開始、未経験ながら山古志班リーダーとなり、ボランティアコーディネーターを務める。2005年1月1日、山古志村社会福祉協議会・生活支援相談員に採用され、山古志住民が住む仮設住宅で生活支援活動を行う。5月1日、地域復興のための中間支援組織「中越復興市民会議」を設立、事務局長に就任。2008年4月1日社団法人中越防災安全推進機構復興デザインセンター 副センター長（理事）となる。他に、中越復興市民会議代表、日本災害復興学会理事・復興支援委員会副委員長、NPO法人中越防災フロンティア理事、NPO法人災害看護支援機構理事、NPO法人災害建造物復旧・復興支援会議理事を務める。

高圭滋（ガオ・グイズ）

1954年生まれ。中国、四川省社会科学界社会連合会において研究と管理に従事する。1999年からは、社会発展と市民社会組織開発のための業務に従事した。都市部と農村部の地域開発、青少年教育、環境保護、弱者の支援などのフィールドに参加した。その後退職。2008年5月12日四川汶川地震発生後、国の内外から救災に駆けつけた民間組織と一緒に、救災や震災復興活動に参画した。現在では、四川512民間救助服務中心において、民間組織に対して災害情報の収集、編集、出版及び関連業務の調整に従事している。



郭虹（グオ・ホン）

四川省社会科学院の社会学研究所の研究者で、所長、大学院の教授を務める。また、中国社会学学会常務理事。社会学会、四川省社会学会の副会長である。

知青（知識青年）、兵士、労働者、看護師、教師、県委副書記など多くの経験がある。1982年、四川師範大学政治教育学部の哲学専攻を卒業、1983年から現在まで四川省社会科学院社会学研究所で社会学研究に従事してきた。主な研究の方向は、都市の社会参加型ガバナンス、社会開発問題、市民社会とその中国における発展などである。

<主催>被災地市民交流会実行委員会

被災地市民交流会
兵庫県建築士会
復興支援コンサート実行委員会
ぼたんの会
野田北ふるさとネット
たかとりコミュニティセンター
市民まちづくり支援ネットワーク
神戸防災技術者の会 (K-TEC)
東アジアまちづくり研究会

<後援> 神戸市

<協力> 神戸市立博物館